

＜事務事業評価表＞

平成26年度

森林環境税事業

評価表

No. 20

〔単位：千円、人〕

1 事務事業の位置付け (Plan)						
所管部課名	農林水産部 林務水産課			担当者	奥平幸雄	
根拠法令等	薩摩川内市農林水産部関係補助金交付要綱等			マニフェスト関連	<input type="checkbox"/>	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業		<input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理			
事業の種類	<input type="checkbox"/> 特定事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業		<input checked="" type="checkbox"/> 裁量事業			
政策	地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくり		施策	林業の振興		
			小施策	森林資源の確保		
予算科目等	会計	一般会計				
	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
	事項	林業振興育成費		細事項	森林環境税事業	
2 事務事業の実施 (Do)						
事業の内容	概要	林業生産性の向上を効率的に図るため、林道と作業道を組み合わせた路網を整備していくことが重要であり、民有林の路網整備を図る事業体へ支援する。 また、森林づくり推進員を配置し、効率的な森林整備の推進に努める。				
	対象（誰を、何を対象とする事業か）	路網整備を図る林業事業体、森林づくり推進員				
	意図（どのような状態にしたいのか）	林業生産性の効率化を図る				
	手段（市がどのような活動をするか）	林業事業体への補助金の交付、森林づくり推進員の配置				
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（⇒ 年度～年度）				
	活動指標	指標名	目標値	目標年度		
	成果指標	補助金交付件数	5件	平成29年度		
	作業路・集材路開設延長	年間4,300m	平成29年度			
経費及び指標の推移	項目	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 見込額	平成28年度 見込額
	事業費	2,175	1,281	1,694	1,694	1,694
	森林づくり推進員賃金	1,620	1,188	1,188	1,188	1,188
	森林づくり推進員労災	75	93	72	72	72
	補助金	480	0	434	434	434
	間伐等森林環境整備事業	480	0	434	434	434
	財源内訳					
	国・県支出金	1,620	1,188	1,188	1,188	1,188
	その他					
	一般財源	555	93	506	506	506
要員配置状況	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
嘱託員						
臨時職員等						
活動指標の推移	6件	0	5件	5件	5件	
成果指標の推移	6,000m	0	4,300m	4,300m	4,300m	
特筆すべき事項等	【森林づくり推進員】 放置されている民有林や間伐の時期にきている森林を調査し、森林所有者に森林整備等の促進を図る。					

＜事務事業評価表＞

3 事務事業の視点別評価 (Check)					
妥当性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対象・手段の妥当性</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 改善の余地はある</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 妥当ではない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 作業路網の開設、間伐等の森林整備を進めるうえでは必要な手段であり、作業の効率化・間伐の推進を図る上では妥当である。</p>	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない
	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない	
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市が関与すべき妥当性</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 民間でも可能</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 民間で実施すべき</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 林業事業体の育成、森林整備の推進を図る上では市が関与すべきである。</p>	市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき	
市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき		
効率性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業費の削減余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 作業路開設に係る事業費の一部補助であるため、事業費的にも妥当な範囲である。 また、森林づくり推進活動については、全額県からの補助金であり有効な事業であるため、今後も活用を図っていく。</p>	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない	
	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない		
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要員配置の削減余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 補助金申請等に係る事務、現地調査等に係る事務があるため削減の余地はない。</p>	要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない		
要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない			
有効性	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">成果の達成度</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 達成度はやや高い</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 達成度は低い</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由 ※成果指標の過去の動向把握(5段階)結果を含めて選択理由を記入) ●過去の動向把握…<input type="checkbox"/>大きく改善、<input type="checkbox"/>改善、<input type="checkbox"/>ほぼ横ばい、<input checked="" type="checkbox"/>減少、<input type="checkbox"/>大きく減少 県の環境税事業に上乘せした事業であるため、要望数が少なくなっている。 (国の方針に伴い広い面積の間伐作業の推進により、国庫補助事業を活用する事業体が増えている)</p>	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は低い
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は低い	
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">成果の向上余地</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 余地がかなりある</td> <td style="padding: 2px;"><input type="checkbox"/> 余地がある程度ある</td> <td style="padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> 余地はほとんどない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 近年は、面的まとまりのある森林を対象に効率的な路網整備を進めているため。</p>	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はほとんどない	
成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はほとんどない		
4 事務事業の改革・改善の方向性 (Action)					
内部評価結果	<p>今後の改革の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性：<input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>他の事業と統合 <input type="checkbox"/>手段の改善 <input type="checkbox"/>移管 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p>				
	<p>上記方向付けの理由</p> <p>森林施業を効率的にかつ低コストに進めるための路網整備に対する補助であり、森林整備の促進のためにも有効な事業である。 また、地元には詳しい方々による森林所有者への森林整備の推進は必要不可欠である。</p>				
	<p>改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画</p>				

外部評価結果	<p>事務事業の視点別評価</p> <p>妥当性 ⇒ <input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</p> <p>効率性 ⇒ <input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</p> <p>有効性 ⇒ <input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</p>
	<p>今後の改革の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性：<input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>他の事業と統合 <input type="checkbox"/>手段の改善 <input type="checkbox"/>移管 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p>
	<p>まとめ(補助金等評価を含む。)</p>

森林づくり推進員について

■ 森林づくり推進員

放置されている民有林や間伐の時期にきている森林を調査し、森林所有者に森林整備等の促進を図っている。
 県の間伐等森林環境整備事業対象の補助事業により実施している。

■ 森林づくり推進員 平成25年度活動実績

地区名	活動地区 森林面積	森林現況の把握		間伐等森林整備の督促		森林施業に関 する相談件数
		件数	調査面積	件数	督促面積	
	ha	件	ha	件	ha	件
湯田・西方地区	632	22	25	3	8	3
陽成・麓地区	834	10	23	12	12	2
城上地区	611.5	13	32	7	3	5
水引地区	576	22	35	8	21	6
下東郷地区	404	22	12	1	26	3
百次地区	418	20	22	7	33	9
倉野団地	349.08	15	2	12	17	3
市比野団地	201.44	20	5	5	2	4
※青年林業士	599.76	10	3	7	21	5
市野々地区	118	10	15	9	8	4
大馬越地区	144	13	16	3	21	2
八重地区	133	1	8	21	33	6
本俣団地	426	1	3	3	8	9
大久保・堀団地	347	8	7	2	9	9
烏丸団地	413	9	18	8	9	12
山田・南瀬団地	401	8	16	7	19	5
烏丸・斧淵団地	395	9	21	11	16	7
上手地区	385	5	29	8	17	7
藺牟田地区	401	12	30	2	12	6
上手地区	474	8	30	8	4	2
下手地区	216	12	24	4	6	5
黒木地区	311	10	16	5	7	6
合計(22地区)	8789.78	260	392	153	312	120

所管部課名	農林水産部 林務水産課		担当者	奥平幸雄					
事務事業名	森林環境税事業								
根拠法令	薩摩川内市農林水産部関係補助金交付要綱								
補助経過年数	6年以上10年以下								
平成26年度 予算額	434 千円	国県支出金	その他	一般財源	その他の内容				
		千円	千円	434 千円					
	指標名		目標値		目標年度				
成果指標①	作業路・集材路開設延長		年間4,300m		平成31年度				
成果指標②									
補助対象者	①北薩森林組合 ②林業事業体 ③3戸以上で構成する協業体 ④地域材を利用する法人のうち、県の森林環境整備事業の実施主体であるもの。								
補助対象経費	民有林間伐に係る作業路及び集材路の開設に係る経費で、県の森林環境整備事業の対象経費であるもの。								
補助対象事業・活動の内容	間伐材の搬出に向けた間伐作業路・集材路の開設								
	分類	<input type="checkbox"/> 運営補助のみ <input checked="" type="checkbox"/> 事業補助のみ <input type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方 <input type="checkbox"/> その他							
補助金額又は補助率	事業費(標準経費)の1/10以内								
上記項目の積算方法	予算で定める額以内								
補助を 受ける 3カ 年の 事業 (団体) 等の 決算 状況	項目		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
			金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	
	収入	自己資金		3,173,200	40.1%	1,920,000	40.0%	0	
		会費収入			0.0%		0.0%		
		事業収入		3,173,200	40.1%	1,920,000	40.0%		
		寄付金・その他助成			0.0%		0.0%		
		市補助金		788,800	10.0%	480,000	10.0%		
		県補助金		3,944,000	49.9%	2,400,000	50.0%		
		(前年度繰越金)			0.0%		0.0%		
	計		7,906,000	100.0%	4,800,000	100.0%	0		
	支出	事業費		7,906,000	100.0%	4,800,000	100.0%		
		人件費			0.0%		0.0%		
		その他事務費			0.0%		0.0%		
					0.0%		0.0%		
					0.0%		0.0%		
			0.0%		0.0%				
(翌年度繰越金)			0.0%		0.0%				
計		7,906,000	100.0%	4,800,000	100.0%	0			
支出計/前年度支出計				60.7%		0.0%			
自己資金/前年度自己資金				60.5%		0.0%			
翌年度繰越金/市補助金		0.0%		0.0%					
交付件数		1件		1件		0件			
成果指標の推移①		5,872m		6,000m		0			
成果指標の推移②									
特記すべき事項等	<p>【その他】 平成25年度補助実績なし。 森林環境税を財源として県が実施する森林環境整備事業の実施主体を補助対象者としているが、平成25年度は当該事業の申請をする事業体が本市ではなかった。</p>								

〈補助金の視点別評価〉

【主管課評価・・・A=合致、B=概ね合致、C=課題あり】

要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	A	森林所有者からの要望により民有林の間伐を実施する際、間伐材生産に不可欠な作業路網を開設することで、適正な間伐が促進され森林の公益的機能向上に繋がる。
必要性	次のいずれかに該当するものである。	A	①に該当する。 民有林の間伐を実施する際、効率的な作業や間伐材の生産を進めるためには、作業路網が不可欠となるが、現在の路網整備水準は低いことから間伐を推進するため一定の支援が必要である。
	① 特定の目標・成果の達成に向けて、一定の団体等に一定の補助を行うことが直ちに必要であると認められる。		
有効性	② 社会的弱者の救済、地域的ハンディの克服等の観点から、当面、補助を通じた行政の支援が必要であると認められる。	A	充実しつつあるスギ・ヒノキの人工林について、適正な間伐と間伐材の有効活用に繋がる。
	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。(その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。)		
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	A	補助対象者は県の事業により作業路・集材路の整備を行う事業体であり、認定林業事業体を実施することが適切である。
	② 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。(交付要綱の補助基準)	B	県の補助額が事業費(標準経費)の1/2であることに對し、市では1/10の補助であり、著しく妥当性を欠く水準ではないと考える。
	③ 補助を受ける団体等の活動状況等に照らし合わせて、自助努力がみられるなど、明らかに半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。	B	県の事業に對應した補助であり、継続的な補助を行っていくかは、県の今後の動向により検討する必要があると考える。
	④ 当該補助事業以外にその団体が行う活動の状況においても一定の公益性が認められる。	A	民有林の森林整備を行う団体は限られているため、その団体へ補助することは、森林資源を保全するうえでは公益性がある。
	⑤ 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も適当な政策手段であると明確に認められる。	A	低迷している林業環境を考慮すれば、認定事業体へ補助し、森林施業の活性化を図るべきである。
	⑥ 補助の対象となる経費が、明確に規定され、その内容は補助目的に照らし、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものとはなっていない。	A	作業路・集材路の整備に必要な補助経費であり、森林整備を実施するうえでは著しく妥当性を欠くものではない。

〈補助金の見直し結果〉

内部評価 (一次) 結果	≪今後の改革の方向性≫ <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の補助金と統合 <input type="checkbox"/> 補助内容の改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	≪上記方向の理由≫ 森林作業道の整備は造林事業を行う上で、間伐作業の効率化、低コスト化を図る必要な事業であるため今後も推進していく。
	≪改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画≫